

令和5年度第9回 多摩市総合計画審議会会議録（要点録）

■開催日時 令和5年8月17日（木） 午後7時～午後9時

■開催場所 多摩市役所 特別会議室

■出席委員 12名（50順）

朝日 ちさと会長、岩佐 玲子委員、小笠原 廣樹委員、尾中 信夫委員、勝田 淳二委員、
紀 初子委員、澤登 早苗委員、高木 康裕委員、春田 祐子委員、福井 博文委員、
細野 佳苗委員、田中 和則委員

■欠席委員3名（50音順）

宮本 太郎副会長、有賀 敏典委員、鷺尾 和彦委員

■事務局

鈴木企画政策部長、小形企画課長、秋葉企画調整担当主査、池田主任、上川主任

■傍聴者 1名

■議事日程

開会

- 1 第7回要点録の確認
- 2 第六次多摩市総合計画について
- 3 「第六次多摩市総合計画」における基本計画の答申書について
- 4 その他

閉会

【開会】

出席委員数は12名であり、定足数に達しているため審議会は成立した。

(事務局より配布資料の確認)

【1 第7回要点録の確認】

第7回要点録(資料70)の確認を行い、修正等なく了承された。

【2 第六次多摩市総合計画について】

○資料71-1「Ⅰはじめに」、71-2「Ⅲ基本計画」について事務局より説明。

- 会長 消費者相談に関する項目は、これまでの計画になかったのか。
- 事務局 今までの計画にはあったが、今回抜けていたため追加した。
- 委員 76ページの現状と課題で「多摩ニュータウンでは、初期入居から50年以上が経過し、同時期に整備された住宅や都市基盤施設の老朽化が進行しています」とあり、オールドタウンというイメージがここでまた書かれているように読めてしまう。マイナス面だけでなく、緑が豊かで、歩車分離の住環境が整い、市民による様々な活動があるというような多摩ニュータウンの実際の姿をここに盛り込めないか。多摩市はシティプロモーションに取り組んでおり、総合計画はシティプロモーションの一つと捉えられる。ここは「現状と課題」なので、「課題」だけではなくポジティブな面を記載してほしい。
- 会長 現状と課題に対して何をするかということがシティプロモーション的な意味をもつと思う。現状認識がネガティブではないかのご指摘である。
- 委員 計画期間の10年間この表現でいくのは厳しいと感じる。また、これに対して何をやるかが「(2)ニュータウン再生の推進」で方針が書かれている点はいいと思うが、分かりにくいので、そこにビジュアルで示したものをに入れていただきたい。
- 事務局 ニュータウン再生方針の項目でビジュアル的にわかるように、とのご指摘は前にもいただいたとおり、図表等で対応することを検討している。

【3 「第六次多摩市総合計画」における基本計画の答申書について】

○資料72について事務局より説明。

- 会長 11ページの諮問理由の2つ目、「社会情勢や地方自治体を取り巻く環境は大きく変化しています。」とあり、審議会の議論でも変化に対する受け方をどうするか多くの意見をいただいた。変化に応じて個別計画や総合計画自体の見直しに反映させていけるような体制を確認したということが、今回の成果であると考えている。
- 委員 「はじめに」の2段落目、「第六次多摩市総合計画の答申書の作成は、約1年の短い期間の中で基本構想と基本計画の2つを検討する非常に厳しいものでした」とある。日程

的に厳しかったことを示したいのだと思うが、あまりそこに触れなくてもよいのではないか。

事務局 ここは期間的な部分もそうだが、これまで、特に第五次の総合計画策定の際は、かなり長く構想を議論し、議決を経たのちに基本計画を検討する形であった。それが通常だが、今回はこれから議会の議決を経る予定である。構想の議論の後、間髪を入れずに基本計画の議論に入っていただいたので、一度俯瞰して見る時間もない中で議論をいただき大変だったと考えるところである。

委員 基本構想と基本計画を続けて、約1年の短い期間で議論することが厳しかったという意味合いか。

会長 実感としてはそのとおりであるが、要は今までと違うスケジュールの中で進めたということと認識した。

事務局 「約1年の短い期間の中で幅広い分野を～」などのように修正したい。

会長 「非常に厳しい」ではなく、「短い期間で対応した」といった表現になるよう、事務局で検討いただきたい。

委員 経緯で言うのであれば、市民ワークショップを実施し、いろいろな意見が出たことを記載してはどうか。

会長 プロセスについての記載には、「それぞれの知見を共有し、ご意見をうかがいながら」などと入れた方がよいのではというご意見である。検討いただきたい。

委員 「総合計画では拾い上げられない具体的な意見」という表現はわかりやすくはあるが、この表現はよく使われるものなのか。「拾い上げられない」という表現に少し違和感があるので、「はじめに」全体の文体に合わせられないか。

事務局 言い換えるのであれば「反映しきれない」といった表現になるか。

委員 「直接反映しきれない」などになると思う。

会長 以上でよろしければ、答申についての確認をいただいたということにしたい。

事務局 事務局にお任せいただいた部分については、会長が確認ということでよいか。

会長 確認のプロセスについては私に一任いただくことで了承いただいた。

【4 その他】

事務局 長い間のご審議に感謝する。最後は会長の確認をもって答申とする。

次回審議会までの大きな流れとして、まずは9月議会で基本構想を提案する。基本計画は8月21、23日の内部会議で素案として決定し、パブリックコメントを9月6日から、市民説明会を9月13、16日に予定している。また、今回は基本構想、基本計画を並行して検討してきたため特別委員会が設けられており、8月30日に基本計画について説明する予定となっている。9月議会で提案する基本構想については、定例会の会期中である9月26、27日に審議が行われる。基本構想は10月に入り議会の最終日に議決される。基本計画のパブリックコメントは10月5日まで行われ、それを受けて市として最終的な調整を行い、10月26日、こちらの審議会で基本計画（案）について説明させていただく。その後、最終的に総合計画となる。

審議会は残り1回あるが、本日答申をまとめていただいたところで一区切りとなる。

事務局 昨年7月にスタートした審議会は本日18回目となる。これまで忙しい中、審議会に出席いただき感謝する。答申書にも記載したとおり、反映しきれなかった意見は今後の市政に反映していく。今年度更新予定の個別計画にも反映していくよう伝える。

会長 委員の皆様、事務局の皆様には進行にご協力いただき感謝する。

委員 パブリックコメントの内容について議論する場はあるか。

事務局 次回、10月26日の審議会において、市民からいただいた意見と市の対応について報告する形となる。

委員 パブリックコメントの内容についても関心があるためシェアしていただきたい。

事務局 基本構想では8件のご意見をいただいた。基本計画は個別具体的話になるため、対応をしっかりと考えていく。

会長 次回が最終回になるため、パブリックコメントの反映を踏まえて、意見がある場合は書面確認等の形になるのか。

事務局 パブリックコメント期間後に庁内会議があり、パブリックコメントと審議会からのご意見を受けてどのように対応していくかをそこで検討する。

会長 以上で第9回審議会を閉会する。

【閉会】

以上